



SUZUKA

2026 AUTOBACS SUPER GT Round 05

2026 SUPER GT 第5戦 鈴鹿サーキット
8月22日(土)～23日(日)

PRACTICE 公式練習

8月22日(土) 天候：晴れ/路面：ドライ

第4戦富士では鈴木斗輝哉がレース序盤に素晴らしい追い上げをみせ、終盤には石浦宏明がベテランらしいテクニックを駆使。チーム全員の力を合わせ、嬉しい2位表彰台を獲得することができたTEAM ENEOS ROOKIE。この勢いを繋げるべく、チームは3週間のインターバルで迎えた第5戦鈴鹿に臨んだ。

走行初日となった8月22日(土)の鈴鹿サーキットは非常に蒸し暑く、午前9時45分からスタートした公式練習は、気温31度/路面温度37度というコンディション。残暑が厳しいなかで始まった。

ENEOS X PRIME AMG GT3は、石浦がステアリングを握りコースインすると、4周目にまずは2分00秒305というタイムを記録するが、第4戦富士で2位表彰台を得たことでサクセスウエイトが大きく増えており、今回は60kgという数値となっている。

実際に搭載するのは50kgで、残りはサクセス給油リストラクターで代用されるとはいえ、やはり重い。「こんなに重いのか、と感じましたね」と石浦も苦笑いだ。

石浦から交代した鈴木は、コースイン直後から二度の赤旗中断を挟んだが、一度ピットに戻った後、ロングランをトライ。12周を走り、ふたたび石浦に交代した。「鈴鹿サーキットは今季、西コースが新しい舗装になっているのですが、持ち込んだタイヤとのマッチングもいまひとつでした。ただやはりウエイトの影響もありましたし、まわりも速かったですね」と鈴木。予選へのセットアップはやや苦しかったが、ロングランでトライしたレースペースには良い手ごたえを得ることになった。

ふたたび ENEOS X PRIME AMG GT3 に乗り込んだ石浦は、8周を走りピットに戻ったが、「かなり厳しい戦いになると思いま

すし、全体的に苦戦してはいますが、まずは予選でランキング上位のライバルを上回りたいですね」と午後の公式予選、そして決勝に向けて石浦は語った。



QUALIFY 公式予選

8月22日(土) 天候:晴れ/路面:ドライ



公式練習から厳しい暑さとなっていた鈴鹿サーキットだが、午後になってもその暑さは変わらず、晴天のもと気温34度/路面温度46度というコンディションで午後3時30分から公式予選が始まった。

午前の公式練習からタイムに伸び悩んでいた ENEOS X PRIME AMG GT3 は、鈴木斗輝哉のスピードに託し公式予選 Q2 進出を目指した。

鈴木はじっくりとタイヤをウォームアップさせ、5周目にアタックラップに入っていく。最終コーナーをインベタでクリアし、タイムを稼いでいった鈴木が記録したタ

イムは1分59秒057。Q2 進出までわずか0.148秒足りず12番手で、公式予選総合では23番手という位置となった。

「そんなにうまくはいかないですね。でも逆に伸びしろがたくさんあるということだと思いますし、この苦しい状況のなかで、どれだけ結果を得られるかが僕たちに求められることだと思います」と鈴木は前を向いた。第1戦では難しい表情をしていた鈴木にとっても、成長の糧となる公式予選となった。逆に、決勝では追いつけるだけだ。TEAM ENEOS ROOKIE はシンプルになった目標へ向け気持ちを切り替えていった。

RACE 決勝レース

8月23日(日) 天候:晴れ/路面:ドライ

公式予選から一夜明け、迎えた8月23日(日)の決勝日。鈴鹿サーキットはこの日も気温が高く、気温34度/路面温度49度というコンディションのもと午後1時30分に決勝レースの火ぶたが切って落とされた。直前のウォームアップ走行まで使って ENEOS X PRIME AMG GT3 はセットアップを煮詰め、鈴木をスタートドライバーに据え23番手からの追いつきを期した。

前日の公式予選の後、チームメンバーの前に「どんどん抜いていきたい」と力強く語っていた鈴木は、その宣言どおり1周目の混戦のなか、3ポジションアップを果たしさっそく公約を果たしてみせる。ただ、序盤の混戦が落ち着き出すと、ENEOS X PRIME AMG GT3 の前を走っていた3台のGT-R 勢を前になかなかオーバーテイクには至らず。順位をキープしながらレースを進めていくことになった。

しかし、今回 ENEOS X PRIME AMG GT3 は下位グリッドからの追いつきを期し、ピットインを遅らせ空いたスペースを走る

オーバーカット、さらにタイヤ二輪交換でピット時間を短縮する作戦を組んでいた。無理なオーバーテイクができないことを理解した鈴木は、しっかりと燃料とタイヤをキープすることに切り替えることに。16周目に

NIPPO コーナーでストップ車両が発生したことによるフルコースイエローが導入された後、アンダーカットを狙うライバルたちがピットに向かっていくと、クリアになったスペースを活かしコンスタントなペースで順位を上げていった。途中、130Rでコースアウトしてしまうシーンもあったが、幸い無傷でコースに復帰。30周を終えて大役を果たし、ピットに戻った。

TEAM ENEOS ROOKIE のクルーは迅速な作業でフロント二輪交換を行い、石浦にステアリングを託しピットアウトする。もし序盤にセーフティカーが出ていたらレースを失うリスクがある作戦だったが、見事に成功し、14番手につけポイント圏内への浮上を果たした。

石浦は#11 フェアレディZの先行こそ許したが、後続をきっちり抑えレース終盤に入っていく。すると、ペナルティやアクシ



デント、トラブルと上位陣が後退してしまおう。これで ENEOS X PRIME AMG GT3 は少しずつ順位を上げ、42周目に2番手だった#60 LC500 がピットインすると、ついに10番手まで浮上した。

直後、上位を争っていた#52 GR Supra が130Rでクラッシュしてしまい、レースはフルコースイエローからセーフティカーとなる。このままレースは再開されることなく、ENEOS X PRIME AMG GT3 は23番手から大きくジャンプアップしての10位フィニッシュを飾ることになった。

公式練習での苦境から、チーム全員がアイデアを出し合い、大きく順位を上げることになったこの第5戦は、表彰台を獲得した第4戦よりも大きなものをチームにもたらした。シーズンはこれから後半戦。TEAM ENEOS ROOKIE は、まだまだ一歩ずつ成長を続けていく。



VOICE ドライバー／GM／監督コメント



Hiroaki ISHIURA DRIVER 石浦宏明

「予選 23 番手から 10 位まで上がることができましたが、『粘り強くレースを戦おう』というコンセプトで、失うものはないという作戦を考えてレースに臨みました。結果的に、セーフティカーのリスクを負ってでもピットインを遅らせようという作戦に出ましたが、それが成功しましたね。フロントタイヤのみ二輪交換という戦略もうまくいきました。それを見据えたセットアップをすることもでき、最後にセーフティカーに助けられたとも思います。今回望みうる最上位でレースを終えることができたのではないのでしょうか。1 年目のチームですが、ミスなく団結して、想定どおりにレースができたと思います。決勝に向けたセット変更も含め、今後に繋がる意味のあるレースにできたと思います」



Tokiya SUZUKI DRIVER 鈴木斗輝哉

「スタートから混戦で、位置取りのなかで何台か抜くことはできたのですが、集団が少しずつ離れてきたときには、前を走る集団を抜くことになり苦労しました。しかしそんな中で燃料をセーブし、フロントも厳しそうだったので労ったりと、ラップタイムを落とさないようにしながら考えて走っていきました。途中、130R でコースアウトしてしまったこともあったのでチームの皆さんに申し訳ないと思いますが、結果的に 23 番手から 10 位に上がり、こんなにたくさんのポイントを得られたのはうれしく思います。こうして強いレースができたので、チームの皆さん、石浦さんに感謝したいです。こういう苦しいレースウィークで石浦さんから学ぶことも多かったので、次戦や今後の未来に繋げていきたいです」



Yutaka YAMAMURA GENERAL MANAGER 山村豊

「夏休みということもあり、たくさんのスポンサーの皆さんやファンの皆さんがいらっしゃっていましたが、その前で皆さんの期待を超える結果を残すことができたのをうれしく思っています。予選は今季いちばん下の順位になってしまいましたが、そこから這い上がるチャレンジ、そしてサクセスウエイトに対しての戦い方と、またひとつ経験を積むことができた。非常に大きなことだったと思いますし、10 位という素晴らしい結果を残すことができたのは、チーム全員の頑張りの結果だったのではないかとと思っています。次戦はさらにサクセスウエイトも加わりますし、狭いサーキットなので予選順位が大事になりますが、我々ができる等身大の力で、皆さんの期待を超えていきたいと思っています」



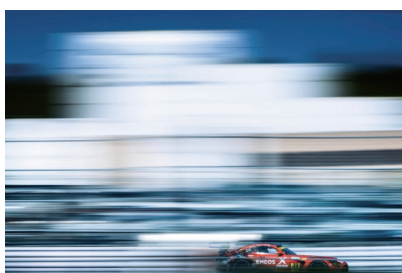
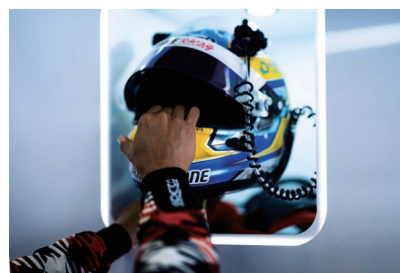
Toshiyuki SEKIYA DIRECTOR 関谷利之

「エンジニアが『想定どおりではなかった』と言っていましたが、我々としては SUPER GT に対して経験が足りないということなので『勉強した』ということだと思っています。言い方は悪いですが真似てみたり、決勝の前にも大きく変えてみたりと、最後までやった結果が 10 位に繋がったと思います。またミスがなかったことも大きいですね。今回はちゃんと自分たちが持てる力を出すことができたと思いますし、展開で順位を上げられたとはいえ、這い上がってこられたので、一歩ずつ強くなっていくのを感じられました。第 4 戦の 2 位も良かったですが、それを超える内容の濃さだったと思いますね。また次に向けてみんなで考えていきたいですし、頑張っていきたいと思っています」

ROOKIE RACING

GT SUPER GT
GT300 / TEAM ENEOS ROOKIE

PHOTO GALLERY フォトギャラリー



ROOKIE RACING



RESULT リザルト一覧

2026 AUTOBACS SUPER GT ROUNDS
SUZUKA GT 300KM RACE
8.22(土)23(日)

1-2

GT300 OFFICIAL PRACTICE 2026 / 8 / 22 / 2:55									
SUZUKA CIRCUIT RESULT 2/2 Weather: Fine Track: Dry									
Pos.	No.	Car/Team	BestTime	Diff	Gap	DriverName	BestTime	Lap	Lap Speed
16	56	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 REALIZE NISSAN MECHANIC CHALLENGE GT-R	1:59.230	0.680	0.083	Joao Paulo Lima de Oliveira Iori Kimura	1:59.230	9 / 13	175.335 175.321
17	26	Nissan Fairlady ZR234 ANEST IWATA GAINER Z	1:59.268	0.748	0.068	Hironobu Yasuda Lee Jungwoo	1:59.268	13 / 14	175.235 172.784
18	31	LEXUS LC500h R2W100 apr LC500h GT	1:59.490	0.940	0.192	Kazuto Kotaka Miki Koyama	1:59.892	11 / 12	174.366 174.953
19	777	Aston Martin Vantage GT3 EVO10(Vantage AMR GT3) D'station Vantage GT3	1:59.520	0.970	0.030	Tomonobu Fujii Charlie Fagg	1:59.520	6 / 7	174.909 170.323
20	4	Mercedes AMG GT3 JC180 GOODSMILE HATSUNE MIKU AMG	1:59.544	0.994	0.024	Nobuteru Taniguchi Tatsuya Katakawa	1:59.544	7 / 8	174.874 174.285
21	48	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 KENKO K'S FRONTIER WM NILZZ GT-R	1:59.736	1.186	0.192	Taiyo Ida James Pull	2:02.786	10 / 11	170.257 174.504
22	62	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 HELM MOTORSPORTS GT-R	1:59.709	1.249	0.063	Yuya Hiraki Reiji Hiraki	1:59.709	11 / 12	174.502 172.140
23	5	TOYOTA 86 MCZ2N6 MACH-EVENER APR BUSTER M06E MACH GO	1:59.849	1.299	0.050	Yusuke Shiotsu Souia Aiso	1:58.848	8 / 10	174.428 173.876
24	360	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 RUNJUP x SOL GT-R	1:59.912	1.362	0.063	Rin Arakawa Yu Kanamaru	1:59.925	5 / 12	174.318 174.337
25	65	Mercedes AMG GT3 JC190 LEON PYRAMID AMG	1:59.955	1.405	0.043	Naoya Gamou Togo Suganami	1:59.955	5 / 15	174.275 174.028
26	32	Mercedes AMG GT3 JC190 ENEOS X PRIME AMG GT3	2:00.305	1.755	0.350	Hiroaki Ishihara Tokiya Suzuki	2:00.305	5 / 14	173.768 173.485
27	20	LEXUS RC F GT3/USC10 SHADE RACING RC F GT3	2:00.380	1.830	0.075	Katsuyuki Hiraseaka Eijiro Shimizu	2:00.094	4 / 13	172.778 173.660
28	22	Mercedes AMG GT3 JC190 RCs AMG GT3	2:00.728	2.178	0.348	Masaki Kano Hiashi Wada	2:00.728	7 / 16	173.159 170.603
29	88	LAMBORGHINI HURACAN GT3 E VENTENY Lamborghini GT3	2:12.354	13.804	11.020	Takeshi Kogure Dantoli Kiyat	2:12.354	4 / 6	157.949

Start Time: 9:45:00 Finish Time: 11:20:00
Red Flag: 10:00:59 ~ 10:17:00 10:20:22 ~ 10:45:00
FCY: 11:02:00 ~ 11:04:00

* CarNo.65 (1202) 訓規 (SUPER-GT SpR 第27条4. 「C」作業遵守事項違反 (安全な3-項係責任))

Chief Timekeeper: Hiroyuki Takai
Clerk of the Course: Norio Miyazawa
Chief Steward: Masao Mizuno

高井浩至 宮城 水野雅男

2026 AUTOBACS SUPER GT ROUNDS
SUZUKA GT 300KM RACE
8.22(土)23(日)

8-2

GT300 QUALIFYING 2026 / 8 / 22 / 18:05									
SUZUKA CIRCUIT OFFICIAL RESULT 2/2 Weather: Sunny Track: Dry									
Pos.	No.	Car/Team	DriverName	Q2Time	Lap	Q1Time	Lap		
19	62	A NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 HELM MOTORSPORTS GT-R	Yuya Hiraki Reiji Hiraki	1:58.914	3 / 5				
20	6	FERRARI 296 GT3 EVO226 GT3 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI	Yoshiaki Katsuyama Niklas Krutten	1:58.397	5 / 5				
21	48	A NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 KENKO K'S FRONTIER WM NILZZ GT-R	Taiyo Ida James Pull	1:58.989	4 / 5				
22	666	B PORSCHE 911 GT3R EVO101 GT3R(B92) seven x seven PORSCHE GT3R EVO	Sven Muller Taichi Watarai	1:58.506	4 / 5				
23	32	A Mercedes AMG GT3 JC190 ENEOS X PRIME AMG GT3	Hiroaki Ishihara Tokiya Suzuki	1:59.057	5 / 5				
24	2	B TOYOTA GR86/ZN8 HYPER WATER INGING GR86 GT	Yuu Tsutsumi Kazuhisa Urahe	1:58.719	3 / 4				
25	26	A Nissan Fairlady ZR234 ANEST IWATA GAINER Z	Hironobu Yasuda Lee Jungwoo	1:59.059	5 / 5				
26	31	B LEXUS LC500h R2W100 apr LC500h GT	Kazuto Kotaka Miki Koyama	1:58.987	4 / 5				
27	25	A TOYOTA GR Supra DB42 HOPPY Schatz GR Supra GT	Takamitsu Matsui Ryota Horachi	1:59.155	4 / 4				
28	20	B LEXUS RC F GT3/USC10 SHADE RACING RC F GT3	Katsuyuki Hiraseaka Eijiro Shimizu	1:59.304	4 / 5				
29	22	A Mercedes AMG GT3 JC190 RCs AMG GT3	Masaki Kano Hiashi Wada	2:00.558	5 / 5				

Q1A: Start: 15:30:00 Finish: 15:40:00 / Q1B: Start: 15:48:00 Finish: 15:58:00 / Q2: Start: 16:23:00 Finish: 16:33:00

【直路先行により不採用としたラップタイム】
Q1A: CarNo.60: 1:57.948.4/5 Q2: CarNo.56: 1:57.760.3/4

* CarNo.45 (1638) 罰金50,000円 (SUPER-GT GTA 7/9/9 No.006-S 「C」開始時のカミ→進入違反))

Chief Timekeeper: Hiroyuki Takai
Clerk of the Course: Norio Miyazawa
Chief Steward: Masao Mizuno

高井浩至 宮城 水野雅男

Series Title Sponsor: AUTOBACS Series Partner: HRC, NISSAN, SUBARU, BOSCH, PIRELLI, TOYOTA, etc. Series Sponsor: etc.

2026 AUTOBACS SUPER GT ROUNDS
SUZUKA GT 300KM RACE
8.22(土)23(日)

3

GT300 QUALIFYING 1 A Gr. 2026 / 8 / 22 / 18:05									
SUZUKA CIRCUIT RESULT Weather: Sunny Track: Dry									
Pos.	No.	Car/Team	BestTime	Diff	Gap	DriverName	BestTime	Lap	Lap Speed
1	777	Aston Martin Vantage GT3 EVO10(Vantage AMR GT3) D'station Vantage GT3	1:57.524			Tomonobu Fujii Charlie Fagg	1:57.524	4 / 5	178.183
2	30	TOYOTA GR86/ZN8 apr GR86 GT	1:57.780	0.456	0.456	Hiroaki Nagai Hibiki Taira	1:57.780	3 / 5	177.493
3	60	LEXUS LC500h R2W100 Syntium LMcora LC500 GT	1:57.970	0.646	0.190	Hiroki Yoshimoto Shunsuke Kohno	1:57.970	5 / 5	177.207
4	96	LEXUS RC F GT3/USC10 K-tunes RC F GT3	1:58.279	0.955	0.309	Morio Nitta Shinichi Takagi	1:58.279	3 / 3	176.744
5	56	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 REALIZE NISSAN MECHANIC CHALLENGE GT-R	1:58.467	1.143	0.188	Joao Paulo Lima de Oliveira Iori Kimura	1:58.467	4 / 5	176.464
6	18	Mercedes AMG GT3 JC190 UPGARAGE AMG GT3	1:58.473	1.149	0.006	Takashi Kobayashi Kotaro Shimbara	1:58.473	5 / 5	176.455
7	5	TOYOTA 86 MCZ2N6 MACH-EVENER APR BUSTER M06E MACH GO	1:58.617	1.293	0.144	Yusuke Shiotsu Souia Aiso	1:58.617	4 / 5	176.241
8	52	TOYOTA GR Supra DB42 Green Brave GR Supra GT	1:58.673	1.349	0.056	Hiroki Yoshida Sella Norikida	1:58.673	3 / 4	176.158
9	4	Mercedes AMG GT3 JC190 GOODSMILE HATSUNE MIKU AMG	1:58.909	1.585	0.236	Nobuteru Taniguchi Tatsuya Katakawa	1:58.909	5 / 5	175.808

Start Time: 15:30:00 Finish Time: 15:40:00

【直路先行により不採用としたラップタイム】
CarNo.60: 1:57.948.4/5

Chief Timekeeper: Hiroyuki Takai
Clerk of the Course: Norio Miyazawa

高井浩至 宮城 水野雅男

2026 AUTOBACS SUPER GT ROUNDS
SUZUKA GT 300KM RACE
8.22(土)23(日)

14-1

2026 AUTOBACS SUPER GT ROUNDS SUZUKA GT 300KM RACE									
SUZUKA CIRCUIT OFFICIAL RESULT 1/2 Weather: Sunny Track: Dry									
Pos.	No.	Car/Team	Lap	TotalTime	Diff	Gap	DriverName	Lap	BestTime
1	9	B BMW M GT3 EVO10M GT3 053 48 PACIFIC UAMUJUMU NAC BMW	14	1:47:16.535			Yusuke Tomibayashi Yuta Fujiwara	24	1:58.469
2	7	FERRARI 296 GT3 EVO226 GT3 48 CARGUY Ferrari 296 GT3	48	1:47:20.855	4.420	4.420	Zak O'Sullivan Kiyoshi Unegaki	31	1:59.624
3	18	Mercedes AMG GT3 JC190 UPGARAGE AMG GT3	48	1:47:23.147	6.621	2.192	Takashi Kobayashi Kotaro Shimbara	20	1:59.081
4	777	Aston Martin Vantage GT3 EVO10(Vantage AMR GT3) D'station Vantage GT3	48	1:47:24.089	7.583	0.942	Tomonobu Fujii Charlie Fagg	16	2:00.255
5	56	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 48 REALIZE NISSAN MECHANIC CHALLENGE GT-R	48	1:47:27.750	11.224	3.661	Joao Paulo Lima de Oliveira Iori Kimura	27	1:59.413
6	88	LAMBORGHINI HURACAN GT3 EVO101 GT3(B92) 48 VENTENY Lamborghini GT3	48	1:47:28.237	11.711	0.487	Takeshi Kogure Dantoli Kiyat	25	1:59.632
7	360	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 48 RUNJUP x SOL GT-R	48	1:47:29.362	12.836	1.125	Rin Arakawa Yu Kanamaru	28	1:59.869
8	5	TOYOTA 86 MCZ2N6 MACH-EVENER APR BUSTER M06E MACH GO	48	1:47:33.767	16.624	3.788	Yusuke Shiotsu Souia Aiso	17	2:00.653
9	11	Nissan Fairlady ZR234 GAINER TANAKA Z	48	1:47:33.767	17.241	0.617	Ryushiro Tomita Kazuki Oki	32	1:59.703
10	32	Mercedes AMG GT3 JC190 ENEOS X PRIME AMG GT3	48	1:47:37.089	20.563	3.322	Hiroaki Ishihara Tokiya Suzuki	18	2:00.681
11	31	LEXUS LC500h R2W100 apr LC500h GT	48	1:47:43.862	27.136	6.573	Kazuto Kotaka Miki Koyama	31	2:00.431
12	30	TOYOTA GR86/ZN8 apr GR86 GT	48	1:47:44.009	28.413	1.277	Hiroaki Nagai Hibiki Taira	16	2:01.848
13	60	LEXUS LC500h R2W100 Syntium LMcora LC500 GT	48	1:47:45.565	29.039	0.628	Hiroki Yoshimoto Shunsuke Kohno	19	2:00.143
14	666	PORSCHE 911 GT3R EVO101 GT3R(B92) 48 seven x seven PORSCHE GT3R EVO	48	1:47:45.597	30.071	1.032	Sven Muller Taichi Watarai	32	1:59.882
15	45	FERRARI 296 GT3 EVO226 GT3 48 PONOS FERRARI 296 EVO	48	1:47:48.021	31.486	1.424	Takuro Shinohara Shintaro Kawabata	21	2:00.268
16	25	TOYOTA GR Supra DB42 HOPPY Schatz GR Supra GT	48	1:47:48.914	33.388	1.893	Takamitsu Matsui Ryota Horachi	27	2:00.678
17	65	Mercedes AMG GT3 JC190 LEON PYRAMID AMG	48	1:47:51.688	35.162	1.774	Naoya Gamou Togo Suganami	31	2:00.082
18	6	FERRARI 296 GT3 EVO226 GT3 48 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI	48	1:47:52.584	36.058	0.896	Yoshiaki Katsuyama Niklas Krutten	18	2:01.337

Continue

Series Title Sponsor: AUTOBACS Series Partner: HRC, NISSAN, SUBARU, BOSCH, PIRELLI, TOYOTA, etc. Series Sponsor: etc.

2026 年 SUPERGT ランキング 石浦宏明: 9 位 (36 ポイント) 鈴木斗輝哉: 13 位 (26 ポイント) 小林可夢偉: 24 位 (10 ポイント)
TEAM ENEOS ROOKIE: 8 位 (48 ポイント)

Our activities are supported by all partners

ROOKIE Racing の活動は、多くの皆さまのご協力によって支えられています

